



復興庁

Reconstruction Agency

新たなステージ 復興・創生へ

# 続く挑戦 つなぐ未来へ

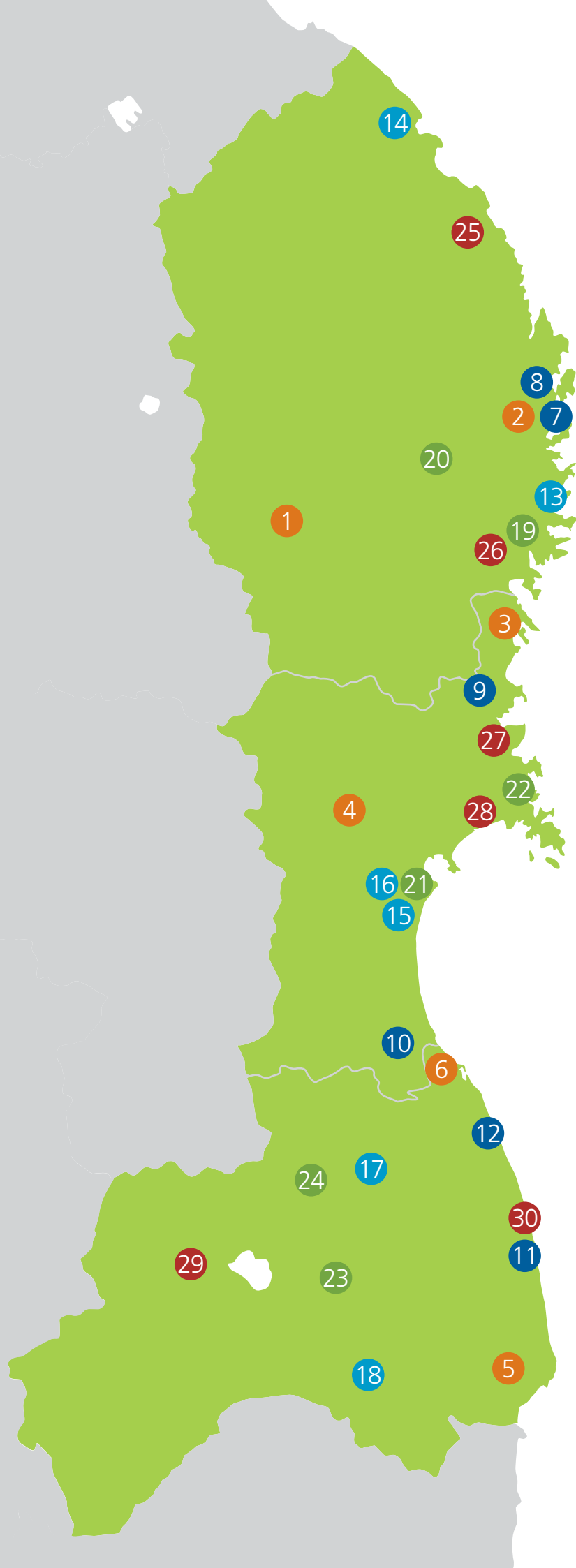
岩手・宮城・福島の産業復興事例30  
2017-2018

平成30年2月発行



# 続く挑戦 つなぐ未来へ

岩手・宮城・福島の産業復興事例30  
2017-2018



# 続く挑戦 つなぐ未来へ

岩手・宮城・福島の産業復興事例30  
2017-2018



表紙の写真／福島県双葉郡富岡町

平成29年10月21日、JR常磐線は竜田駅～富岡駅間で運転を再開しました。表紙は「復興の今」を象徴する風景として富岡町の日の出の写真をもとに構成し、本冊子のタイトルである「続く挑戦つなぐ未来へ」をイメージしてデザインしました。



# 目次

|                          |   |
|--------------------------|---|
| 平成29年度の復興大臣顕彰企業・団体について   | 4 |
| 株式会社五十集屋（岩手県大船渡市）        |   |
| 特定非営利活動法人りくカフェ（岩手県陸前高田市） |   |
| 株式会社かね久（宮城県多賀城市）         |   |
| 株式会社マルキン（宮城県女川町）         |   |
| アンフィニ株式会社（福島県楡葉町）        |   |
| 郡山観光交通株式会社（福島県郡山市）       |   |

|                                    |   |
|------------------------------------|---|
| 座談会～独創的な挑戦が新しい商品や市場を創り出し、復興の推進力となる | 8 |
| 復興大臣 吉野 正芳                         |   |

|                            |  |
|----------------------------|--|
| とおの屋 要 代表 佐々木要太郎氏          |  |
| 東北工芸製作所 常務取締役 佐浦みどり氏 木村真介氏 |  |
| 農事組合法人浜通り農産物供給センター         |  |
| 代表理事 三浦広志氏 渡邊春香氏           |  |
| 株式会社ももがある 代表取締役 齋藤由美子氏     |  |

## 今だから話せる成功の舞台裏

現在はV字回復している、あるいはさまざまな状況乗り越えて再生・起業した事業者が「今だから話せる成功の舞台裏」として、これまでの取り組みを紹介。直面した課題やその対応策・打開策も併せて成功の舞台裏を明らかにする。

|                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| ① 農業生産法人西部開発農産（岩手県北上市）              | 14 |
| [応援メッセージ] 公益社団法人 日本農業法人協会会長 山田敏之氏   | 18 |
| ② 大槌商業開発株式会社（岩手県大槌町）                | 20 |
| [マンガで見る舞台裏] 「シーサイドタウン マスト復興物語」田中美菜子 | 24 |
| ③ 株式会社八葉水産（宮城県気仙沼市）                 | 26 |
| [応援メッセージ] アイリスグループ会長 大山健太郎氏         | 30 |
| ④ 有限会社今野醸造（宮城県加美町）                  | 32 |
| [マンガで見る舞台裏] 「支えてくれたのは!!」山田ゴロ        | 36 |
| ⑤ 株式会社いわきスポーツクラブ（福島県いわき市）           | 38 |
| [応援メッセージ] いわき商工会議所会頭 小野栄重氏          | 42 |
| ⑥ 農事組合法人浜通り農産物供給センター（福島県相馬市）        | 44 |
| [マンガで見る舞台裏] 「お米アイドル、浜通りマイの歩み」篠月泉太郎  | 48 |

|                      |    |
|----------------------|----|
| [コラム] 監修委員の視点から      |    |
| 東北大学大学院経済学研究科教授 大滝精一 | 50 |

## 被災地外からの進出事例

被災地外から被災地への企業立地、工場等立地の事例を紹介。被災地を元気にしたいなどの意向や進出への判断のきっかけとなった事項なども紹介する。

|                           |    |
|---------------------------|----|
| ⑦ 株式会社ゼネラル・オイスター（岩手県大槌町）  | 52 |
| ⑧ 株式会社ティエフシー（岩手県山田町）      | 54 |
| ⑨ フロンティアジャパン株式会社（宮城県南三陸町） | 56 |
| ⑩ メルコジャパン株式会社（宮城県丸森町）     | 58 |
| ⑪ アンフィニ株式会社（福島県楡葉町）       | 60 |
| ⑫ 株式会社井部製作所（福島県南相馬市）      | 62 |

|                           |    |
|---------------------------|----|
| [コラム] 監修委員の視点から           |    |
| 一般財団法人ダイバーシティ研究所代表理事 田村太郎 | 64 |

## 海外への挑戦事例

震災後の事業展開において新たなビジネスフィールドを海外に見出し、販路開拓を成功させた事例や商品開発に取り組んでいる事業者を紹介する。

|                       |    |
|-----------------------|----|
| ⑬ 株式会社五十集屋（岩手県大船渡市）   | 66 |
| ⑭ 有限会社沢菊（岩手県久慈市）      | 68 |
| ⑮ センコン物流株式会社（宮城県名取市）  | 70 |
| ⑯ 有限会社東北工芸製作所（宮城県仙台市） | 72 |
| ⑰ 齋米織物株式会社（福島県川俣町）    | 74 |
| ⑱ 白河素形材ヴァレー（福島県白河市）   | 76 |

|                           |    |
|---------------------------|----|
| [コラム] 監修委員の視点から           |    |
| 日本女子大学家政学部家政経済学科専任講師 額田春華 | 78 |

## 事業承継の成功事例

震災をきっかけに、次世代に事業を承継した成功例、活躍例。若者世代ならではの発想やネットワークを活用し、事業伸展、新規事業立ち上げなどにつながっている事例を紹介する。

|                       |    |
|-----------------------|----|
| ⑲ サンコー食品株式会社（岩手県大船渡市） | 80 |
| ⑳ とおの屋 要（岩手県遠野市）      | 82 |
| ㉑ 株式会社かね久（宮城県多賀城市）    | 84 |
| ㉒ 株式会社マルキン（宮城県女川町）    | 86 |
| ㉓ 郡山観光交通株式会社（福島県郡山市）  | 88 |
| ㉔ 株式会社ももがある（福島県福島市）   | 90 |

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| [コラム] 監修委員の視点から               |    |
| レオス・キャピタルワークス株式会社代表取締役社長 藤野英人 | 92 |

## 革新的スタートアップ事例

被災地において、震災後に新たに事業を立ち上げた企業や起業家を取り上げ、新規事業始動、起業における創意工夫や今後の展望を紹介する。

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| ㉕ 岩泉乳業株式会社（岩手県岩泉町）         | 94  |
| ㉖ 特定非営利活動法人りくカフェ（岩手県陸前高田市） | 96  |
| ㉗ 株式会社デ・リーフデ北上（宮城県石巻市）     | 98  |
| ㉘ 合同会社MYラボ（宮城県石巻市）         | 100 |
| ㉙ 株式会社会津ラボ（福島県会津若松市）       | 102 |
| ㉚ 富岡ホテル株式会社（福島県富岡町）        | 104 |

|                |     |
|----------------|-----|
| 掲載事業者の制度利用について | 106 |
| 奥付             | 108 |

今だから話せる成功の舞台裏

被災地外からの進出事例

海外への挑戦事例

事業承継の成功事例

革新的スタートアップ事例

# 続く挑戦 つなぐ未来へ

## 岩手・宮城・福島の産業復興事例30 2017-2018

復興庁では、岩手・宮城・福島の3県の企業や団体が、業種や地域の特性、培ってきた知見や創意工夫を活用して、さまざまな「挑戦」を行うことが「新しい東北」の創造の一助となると期待しています。

こうした企業や団体の取り組み事例を他の企業や団体、自治体などが参考にし、また、被災地内外で共有することは、今後の事業創出や復興の加速化に資するとの認識から、2012年以降毎年、産業復興事例集の編纂を行っています。



### 平成29年度の復興大臣顕彰企業・団体について

本冊子で紹介した企業や団体の取り組みの中で、新たな挑戦や課題の克服といった観点から、特に参考になる事例として6企業・団体を選定し、復興大臣顕彰を授与しました。

#### 平成29年度の顕彰企業・団体

##### 【岩手県】

株式会社五十集屋 大船渡市

特定非営利活動法人りくカフェ 陸前高田市

##### 【宮城県】

株式会社かね久 多賀城市

株式会社マルキン 女川町

##### 【福島県】

アンフィニ株式会社 檜葉町

郡山観光交通株式会社 郡山市







## 株式会社五十集屋

五十集屋は大粒の岩手のホタテを、高級食材として台湾、香港へ輸出。水温・室温、水質などを厳重に管理しているため、他県産より消費期限を1日長く設定することができ、アジアへの輸出を可能にした。



## 特定非営利活動法人りくカフェ

震災直後、「陸前高田には人が集まる場所が必要」というコンセプトから、りくカフェは生まれた。誰もが楽しく集える場として、また、健康と生きがいづくりの場として機能している。







## 株式会社かね久

かね久は、パン粉の販売を主力とする食品卸売の金久商店を事業譲渡で引き継いだ。古代米など地域の食材の販売やPR、新商品開発に取り組むとともに、生産者とのネットワークづくりや販路拡大なども推進している。



## 株式会社マルキン

マルキンの鈴木真悟氏は、自社の銀サケを「銀王」と名づけ、ブランド力アップや販路拡大に積極的に取り組んでいる。漁業のPRや後継者育成にも力を注いでいる。







## アンフィニ株式会社

大阪に本社を置くアンフィニは、2017年に福島県楢葉町に、太陽電池モジュールを生産する工場を新設した。新工場では「福島プライド」を掲げ、高品質で高効率の製品づくり、地元の人材の採用、人材教育を積極的に行っている。



## 郡山観光交通株式会社

郡山観光交通は、タクシー業を軸に事業を多角化。高齢者向け旅行会社「孫の手トラベル」は、自社所有のキッチンカーを使った「ブランド野菜を畑で味わう旅」をはじめ、ユニークな商品でリピーターを獲得している。



## 監修委員 (氏名五十音順)

座長

東北大学大学院経済学研究科

教授

大滝 精一



一般財団法人ダイバーシティ研究所

代表理事

田村 太郎



日本女子大学家政学部家政経済学科

専任講師

額田 春華



レオス・キャピタルワークス株式会社

代表取締役社長

藤野 英人



## 問い合わせ先

### 復興庁企業連携推進室

|       |    |    |
|-------|----|----|
| 参事官   | 和爾 | 俊樹 |
| 政策調査官 | 高田 | 正行 |
|       | 平田 | 雄恵 |
|       | 足立 | 正和 |
|       | 野村 | 大祐 |
|       | 巻  | 和典 |

Tel: 03-6328-0267

Email: kigyo-rs@cas.go.jp